

1. 医療用スマート端末の開発と実証事業

1. 事業の概要および目的

マイナンバーカードの高度なJPKI^(注)機能を搭載し保険資格確認を行なえるようにしたスマート端末の試作開発および実証を行った。このスマート端末には、J-LISが提供する特定機関認証の仕組みが実装されており、オンライン環境が利用できない場合でもマイナンバーカードを用いた本人確認を行うことができるため、大幅な利便性向上が期待できる。 JPKI：公的個人認証サービス、運用主体はJ-LIS（地方公共団体情報システム機構）

2. 事業の実施内容

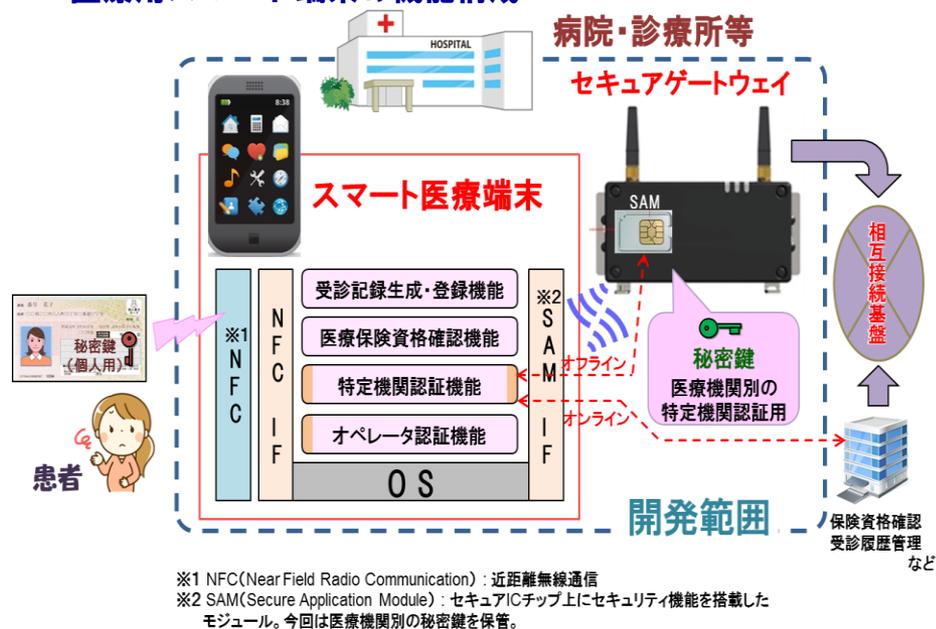
①試作開発

平成29年度JKAの補助事業として、右図のような構成による医療用スマート端末を開発した。

②実証

2018年3月、日本海総合病院(山形県酒田市)において、医療等分野相互接続基盤との接続実証を行った。患者のマイナンバーカードを使って模擬的にオンライン(資格確認プラットフォーム接続)とオフライン(非接続)それぞれの環境下で資格確認を実施した。また、この処理応用した受診記録情報の登録を基に、以前に登録を行った前橋の群馬大学医学部付属病院に接続して医療情報を参照し、過去の画像情報を連携するシナリオでデモを行った。

医療用スマート端末の機能構成



3. 事業の成果と今後の対応

本事業のオフライン資格確認はオンライン方式を拡張する方式であり、利用場所や時間の制約を減らしつつ使い分けることで、医療現場に応じた利便性が向上が図れる。スマート端末と専用ネットワークを活用する資格確認サービスの応用が広がって、医療等機関への普及導入が促進されれば、医療の質の向上・効率化に繋がるのが期待される。本実証は医療端末の仕様検討において先導的役割を担うもので、スマート端末は今後、医療用端末の低コストかつ実用的な方式として、健康/医療/介護の分野での普及が期待される。また健康情報を個人で活用するような、受診履歴管理サービスや処方薬管理サービスへの展開が期待される。